

2026年 3 月期 中間期 決算補足説明資料



株式会社コア
2025年10月28日



決算概要

決算概要

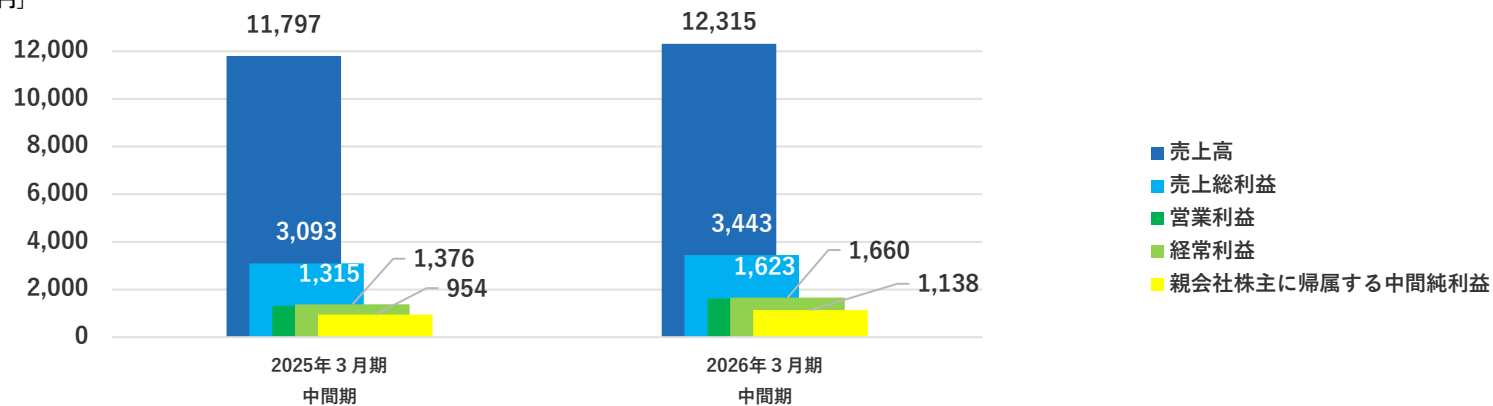
決算概要 前年比で増収増益を達成

科 目	2025年 3 月期 中間期		2026年 3 月期 中間期	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	11,797 百万円	105.3%	12,315 百万円	104.4%
売上総利益	3,093 百万円	102.9%	3,443 百万円	111.3%
営業利益	1,315 百万円	101.0%	1,623 百万円	123.4%
経常利益	1,376 百万円	102.4%	1,660 百万円	120.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	954 百万円	102.4%	1,138 百万円	119.2%
受注残高	8,850 百万円	100.7%	9,634 百万円	108.9%

決算概要

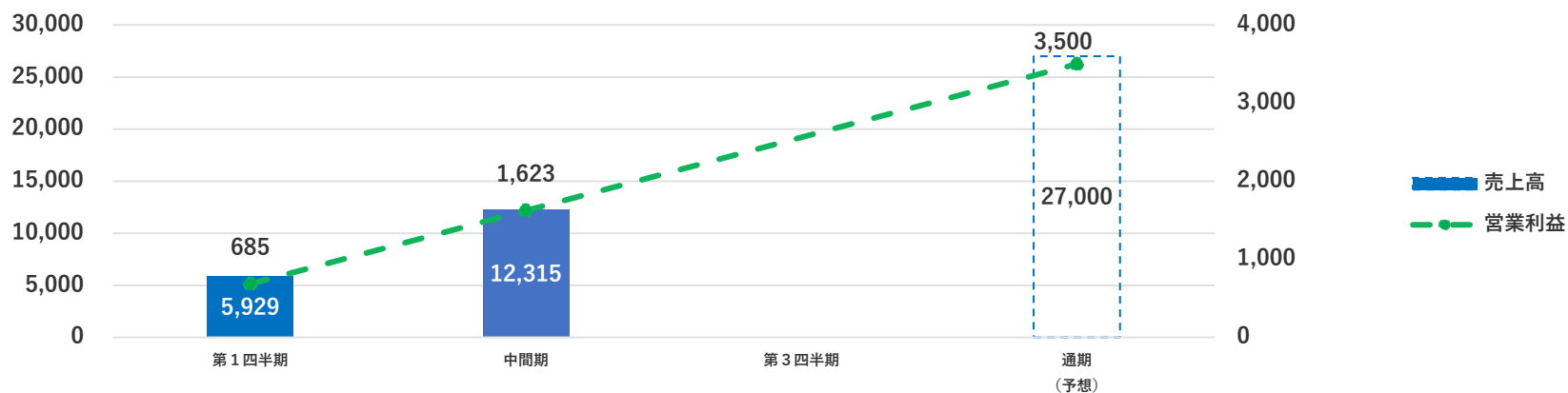
前年同期比

[百万円]



2026年3月期の連結業績

[百万円]



決算の増減要因

売上高

📈 前年比**104.4%**

- ⊕ 要因 未来社会 公共Solにおいて官公庁向けシステム開発が伸長
- ⊕ 要因 未来社会 エネルギーSolにおいて電力会社向けソリューションが堅調
- ⊕ 要因 産業技術 IoT(AI) Solにおいてメーカー向けソリューションが伸長
- ⊕ 要因 産業技術 メディアSolにおいて放送業界向け映像ソリューションが堅調
- ⊕ 要因 産業技術 その他のSol分野においてもソリューション案件が全体的に伸長
- ⊕ 要因 産業技術 音響機器や半導体関連装置に関する開発業務が伸長
- ⊖ 要因 未来社会 医療Solにおいて売上高が伸び悩み縮小
- ⊖ 要因 顧客業務 信販向けシステム開発および運送会社向けシステム開発の案件縮小

営業利益

📈 前年比**123.4%**

- ⊕ 要因 未来社会 エネルギーSolにおいてソリューション案件が増加したことにより利益拡大
- ⊕ 要因 産業技術 IoT(AI) Sol、メディアSolなど全体的にソリューション案件が増加したことにより利益拡大

決算概要

事業区分別の業績

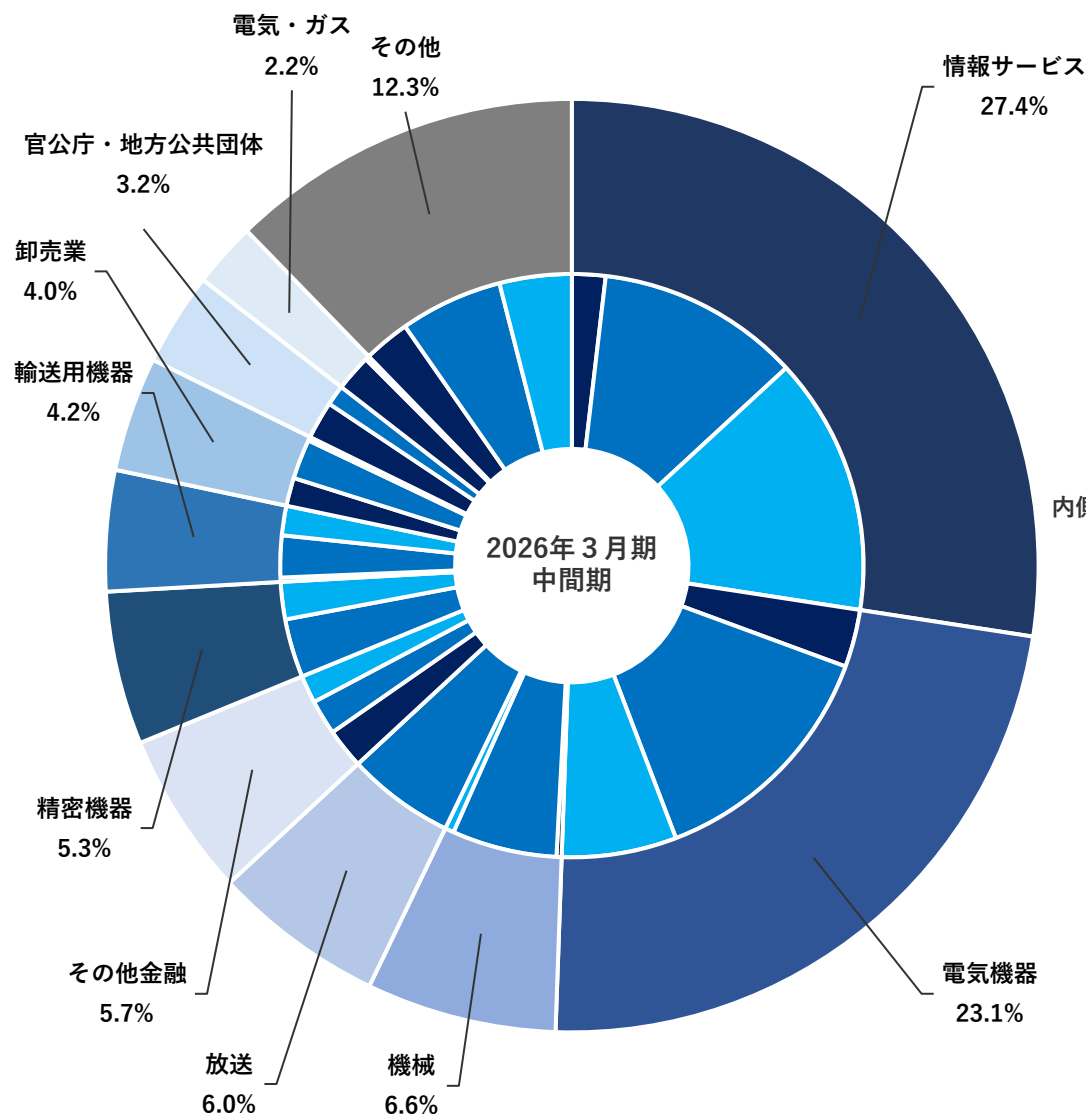
		2025年 3 月期 中間期		2026年 3 月期 中間期	
		売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
未来社会ソリューション事業	公共Sol	601 百万円	252 百万円	617 百万円	221 百万円
	医療Sol	318 百万円	△121 百万円	224 百万円	△5 百万円
	エネルギーSol	714 百万円	238 百万円	815 百万円	275 百万円
	その他 Sol	463 百万円	142 百万円	418 百万円	122 百万円
	合計	2,097 百万円	510 百万円	2,076 百万円	614 百万円
産業技術ソリューション事業	IoT(AI) Sol	663 百万円	216 百万円	972 百万円	328 百万円
	メディアSol	818 百万円	182 百万円	899 百万円	237 百万円
	宇宙テックSol	188 百万円	68 百万円	238 百万円	77 百万円
	DXインサイトSol	180 百万円	49 百万円	273 百万円	78 百万円
	その他 Sol	3,788 百万円	1,141 百万円	4,099 百万円	1,266 百万円
	合計	5,640 百万円	1,658 百万円	6,483 百万円	1,988 百万円
顧客業務インテグレーション事業		4,059 百万円	923 百万円	3,755 百万円	839 百万円

決算概要

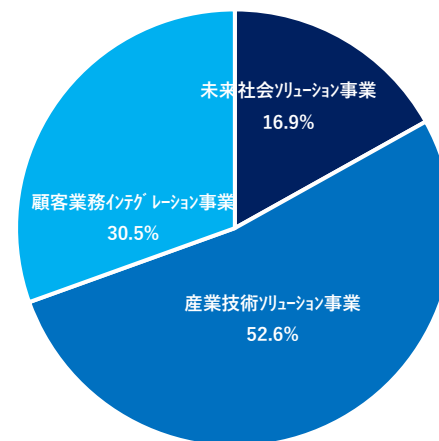
連結貸借対照表

	2025年 3 月期			2026年 3 月期 中間期		
	金額		前期末比	金額		前期末比
流 動 資 産	16,386	百万円	109.4%	16,914	百万円	103.2%
固 定 資 産	8,771	百万円	98.4%	8,898	百万円	101.5%
資 産 合 計	25,157	百万円	105.3%	25,813	百万円	102.6%
流 動 負 債	5,996	百万円	96.0%	6,019	百万円	100.4%
固 定 負 債	629	百万円	97.9%	648	百万円	103.0%
負 債 合 計	6,625	百万円	96.2%	6,667	百万円	100.6%
純 資 産	18,532	百万円	109.0%	19,145	百万円	103.3%
負 債 ・ 純 資 産 合 計	25,157	百万円	105.3%	25,813	百万円	102.6%

売上高の業種別割合



セグメント別割合



内側の円グラフ内訳：

- 未来社会ソリューション事業
- 産業技術ソリューション事業
- 顧客業務インテグレーション事業



中期経営計画の進捗状況

中期経営計画へのとりくみ状況

事業戦略

人材戦略

財務戦略

単位：百万円



未来社会

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年比
売上高	2,097	2,076	99.0%
営業利益	131	225	171.7%

- 自治体DXにおいて平時・有事に活用可能なフェーズフリーでの情報活用ニーズの高まりを受け、オンプレミスによる生成AIの活用を拡大し、安全・信頼性の確保に向けた取り組みを加速。
- 地域包括ケアの必要性が高まる中、医療・介護統合電子カルテシステムの営業強化を推進。
- 一般送配電会社からの大型案件の受注もあり堅調に推移。



産業技術

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年比
売上高	5,640	6,483	114.9%
営業利益	762	1,023	134.2%

- IoT(AI)・宇宙テック・DXインサイトで売上高二桁成長。特にIoT(AI)・DXインサイトは130%以上の成長。
- 工場設備保全DX「スマート遠隔保全ソリューション」アナログ計器デジタル化機能の拡充。老朽化設備の保全業務を効率化。
- 内閣府「2025年度 みちびきを利用した実証事業」に当社を代表とする実証事業が採択。宇宙テックユースケースを拡大。



顧客業務

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年比
売上高	4,059	3,755	92.5%
営業利益	421	374	88.8%

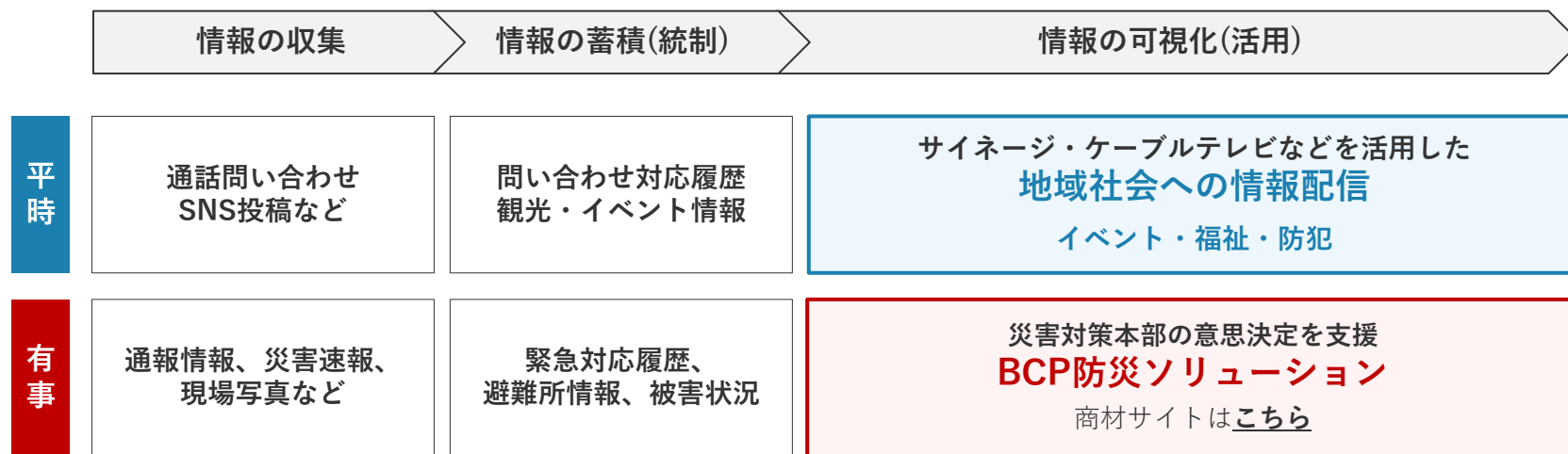
- グロースエンジン事業への業務シフトが引き続き進行、成長領域への注力を継続。
- 一部金融業務の大型案件収束の影響で売上高は減少。

クローズドAIを活用した自治体DXの取り組み

- フェーズフリー（平時・有事対応）設計により、あらゆる状況下で活用可能な情報プラットフォームを構築。
- 自治体に寄せられる様々な情報を収集、分析可能な情報として蓄積することで、平時には地域密着型の情報配信、有事には地域の災害・事件・事故など自治体の保有する情報のリアルタイム配信を実現。
- クローズドAIの活用により、住民のプライバシーに配慮した安全・信頼性の高い情報運用を実現。
- 補助金制度を活用し自治体が抱える地域課題の解決に向けた提案を加速、持続可能な地域づくりに貢献。

クローズドAIを活用したフェーズフリーの情報プラットフォーム

フェーズフリーの情報活用により、**平時の業務DX**と**有事における意思決定の迅速化**を両立



スマート遠隔保全ソリューション

- アナログ計器のデジタル化機能を追加リリースし、老朽化した生産設備の遠隔監視を実現。点検業務のさらなる効率化と、製造現場の安全性向上・安定操業に貢献。
- 9月に幕張メッセで開催された「第4回スマート工場EXPO[秋]」に出展。製造業の現場課題に即した具体的なユースケース展示を通じて市場ニーズとの高い親和性を確認。

スマート遠隔保全ソリューション

アナログ計器のデジタル化機能の特徴

- ・ カメラでアナログ計器を自動検針
- ・ 自動検針による保全作業工数を大幅に削減

対応計器（今後対応予定含む）

メータタイプ	円型	レベル型	フロート型	カウンタ型	リニア型
対応状況	✓	✓	※今後対応予定	※今後対応予定	※今後対応予定



Before 人手による巡回点検、見落としリスクや記載ミス
After 遠隔監視によるリアルタイム把握、安全性や業務効率の向上

リアルタイムでの遠隔監視により
異常兆候の早期検知と対応の迅速化を実現

スマート工場EXPO 会場の様子

ブースでは配電盤・制御盤の異常監視のデモを実施。老朽化した生産設備に対する保全業務効率化の期待の高さが感じられた。





貢献するSDGs



宇宙テック



産業技術

ドローンサービス **ChronoSky** / みちびき受信機 **Cohac**

- 国土交通省の公募案件にて、みちびきCLAS対応ドローンを活用した港湾点検を能登半島沖で実施。災害による通信障害下でも、衛星単独で高精細な3Dデータ作成が可能であることを実証。
- 世界最大のGNSS国際会議「ION GNSS+ 2025」において「みちびきMADOCA-PPPを活用した高精度時刻同期」、土木学会において「ドローン撮影点群データの三次元データ管理システムChronoSky-3D」および「みちびきを活用したAR技術の発表」を行い、災害対応やインフラ管理の精度・効率向上に貢献する技術として訴求。

みちびき対応ドローンによる能登半島沖での港湾点検

「みちびきCLAS対応ドローンによる能登半島沖での地形測量を実施」
(2025年10月2日 当社ニュースリリース)

News Release

2025年10月2日
株式会社コア

みちびき CLAS 対応ドローンによる能登半島沖での地形測量を実施 通信インフラが使用できない環境でも高精度な飛行を実現し迅速な地形状況把握が可能

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長執行役員：横山 浩二、以下「コア」）は、国土交通省 国土技術政策総合研究所の令和6年度発注業務（件名：リモートセンシング技術による定量的な水位把握と施設の利用可否判断に関する調査業務、受注者：パシフィックコンサルタンツ株式会社）の再委託先として、石川県能登半島諸港で災害時の被災構造物の状態確認を想定したみちびき^{※1}CLAS^{※2}対応ドローンを活用した検証を実施しました。

※1 みちびき：準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システム。
※2 CLAS：Centimeter Level Augmentation Service センチメートル級補正サービス



<https://www.core.co.jp/news/988>

ION GNSS+および土木学会での研究開発成果発表

ION GNSS+ 2025

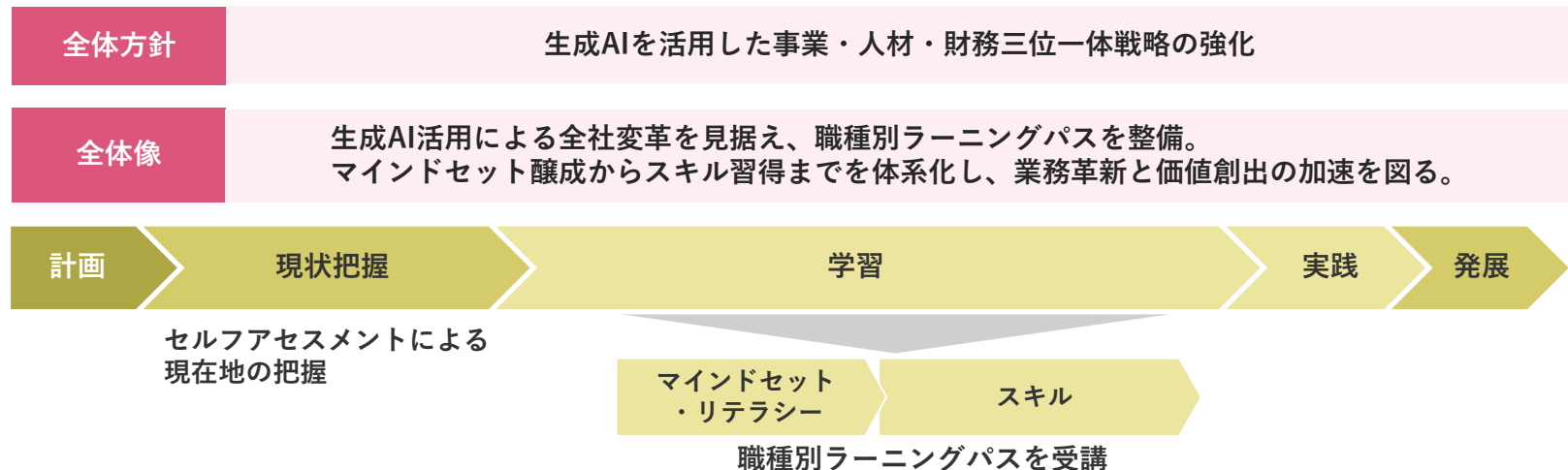


令和7年度土木学会全国大会 第80回年次学術講演会



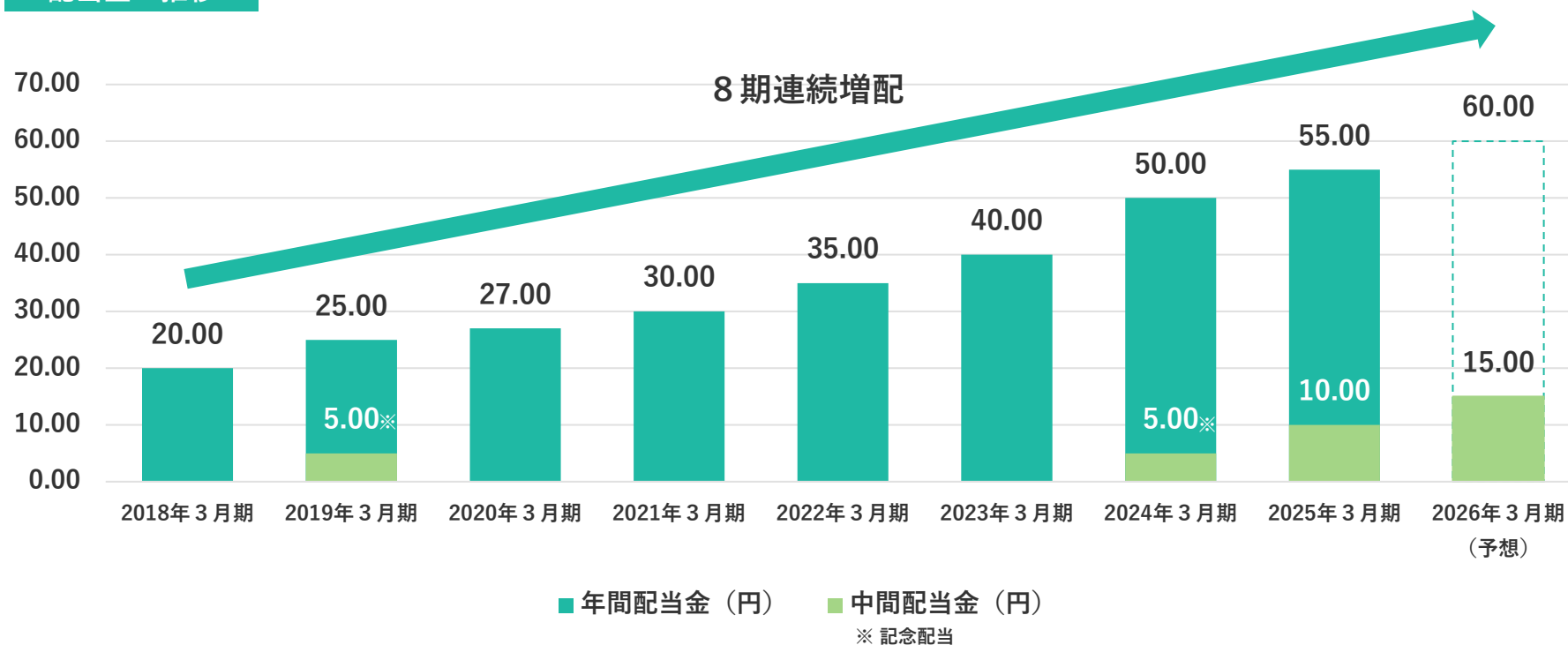
- 第14次コアグループ中期経営計画の集大成として「コアSX人材育成」の取り組みを継続的に推進。3ヵ年のKPIである社内認定者数80名の達成を見込む。
- 事業・人材・財務の三位一体による戦略強化を支える基盤整備として、希望者を対象に生成AIスキル向上施策を推進。全社的な業務革新と価値創出を加速。
- 社員エンゲージメント向上を目的に、全社員参加型のコンプライアンスセミナーを階級別に開催。全社的な意識醸成と組織力強化に寄与。
- 2025年10月1日より「人材・財務統括本部」を新設。人的資本投資の具体化を通じて、人材戦略と財務戦略の遂行を加速し、全社的な価値創出の支援体制を強化。

生成AIスキル向上施策の推進



- 昨今の経営環境の変化や当期事業の進捗を勘案し、中間配当を前期実績よりも5円増配となる1株15円とすることを決定。
- 2026年3月期の1株当たりの配当金については、中間配当15円に期末配当45円を加え、年間配当は1株当たり60円となる予定。

配当金の推移



本資料に含まれる計画や業績見通し等は、現時点における情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、今後の経済動向や市場環境等の様々な条件・要素により変動する可能性があります。

そのため、実際の業績がそれらの記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

株式会社コア

〒 154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル

 03-3795-5111

 www.core.co.jp